

募集等に係る株券等のお客様への配分に関する

抽選対象となる需要申込み価格について

弊社では、「募集等に係る株券等のお客様への配分に関する基本方針」に掲げておりますとおり、募集等に係る株券等の配分に関しましては、過度な集中配分及び不公正な配分とならないよう、原則として全量抽選の方法により配分を行っております。

さて、

弊社の配分における抽選対象となる需要申込みの取扱いは、価格優先の考え方に基づいています。すなわち、ブックビルディングへの参加需要のうち、価格の高い需要（注*）から順番に抽選対象としていきます。

条件決定日には募集・売価格や募集期間などの日程などのほか、弊社の販売分担株数も決まり、募集・売価格は引受団全体の需要状況を考慮して決定されますが、必ずしも仮条件の上限で決定されるとは限りません。また、弊社における需要の積みあがり方と引受団全体の積みあがり方は必ずしも同じではありません。そのような状況下で、弊社は販売分担株数を満たす価格の需要までを抽選対象として抽選を行います。抽選対象となる需要について、下記により、新規公開企業の公募・売出し（IPO）を例に説明いたします。

記

(1)募集・売価格が仮条件の上限で決定した場合

ストライクプライスおよび上限価格での需要を対象に抽選を行います。

(2)募集・売価格が仮条件の上限を下回って決定した場合

需要の積みあがり方によって以下のケースに分かれます。

- ①ストライクプライスおよび上限価格での需要が弊社の販売分担株数を満たす場合は、決定した価格での需要は抽選対象外となります。
- ②ストライクプライスおよび上限価格での需要が弊社の販売分担株数を満たさない場合は、販売分担株数を満たすまで上限価格を下回る価格での需要を抽選対象に加えます（ただし、決定した価格での需要分まで）。

上記(2)のケースを例示すると下図のようになります。

価格優先配分(ストライクプライス優先)に基づく抽選

例) 弊社販売分担株数 : 1,000株
 公募・売出価格 : 490円
 申込み株数単位 : 1株

ケース①

ブックビルディングの価格別需要状況		抽選対象 の可否
価格	需要株数	
ストライク	2,000	○
500円 (仮条件の上限)	1,600	○
490円	100	×
480円	200	×
470円 (仮条件の下限)	100	×

} 合計(3,600株)で販売分担株数を充足

ケース②

ブックビルディングの価格別需要状況		抽選対象 の可否
価格	需要株数	
ストライク	500	○
500円 (仮条件の上限)	400	○
490円	1,000	○
480円	600	×
470円 (仮条件の下限)	500	×

} 合計(1,900株)で販売分担株数を充足

注*

ブックビルディングの形態によって高い価格（需要）の定義は異なり、以下の3とおりに大別できます。

①仮条件が価格帯で提示される場合

上限価格と下限価格が決められ、高い価格（需要）とは上限価格をいいます。

②仮条件がディスカウント率で提示される場合

仮条件の範囲が、ディスカウント率で提示される。ディスカウント率とは、公募・売出価格を決める際に基準価格（条件決定の際に基準となる価格。一般的には条件決定日の終値。）から何%ディスカウントするか、という数値で、高い価格（需要）とはディスカウント率の小さいものをいいます。

③仮条件がアップ率で提示される場合

転換社債型新株予約権付社債のケース。仮条件の範囲が、アップ率で提示される。アップ率とは、転換価額を決める際に基準価格（条件決定の際に基準となる価格。一般的には条件決定日の終値。）から何%上乘せするか、という数値で、高い価格（需要）とはアップ率の大きいものをいいます。

なお、需要のお申込みは、仮条件内の数値ごとに行えるほか、「ストライクプライス」でも行えます。ストライクプライスとは、株式売買における「成行買い」に近い概念と言え、仮条件の一番高い価格と同等の需要とみなします。

以上